

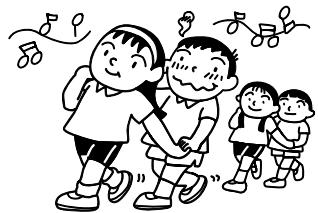
<赤平フォークダンス同好会>

私達「公民館講座」より発足、今年で12年になります。現在会員数は25名。白山敏子先生の指導のもと毎週火曜日、木曜日の午前10時より午後3時まで練習しております。

行事は大きなフォークダンスの大会の内、全道大会と道北大会に毎年参加、その他に近在のサークルのパーティーに参加して、交流を図っています。

私達サークルのパーティーも毎年10月に行っており、約100名程のフォークの仲間が集まり、講堂いっぱいの大きな輪となり楽しい集いとなります。又、来年17年4月には、私達サークルが第31回道北大会の当番となり、赤平で大会が開催されることになりました。大きな大会を担当するのは初めてのこと、その準備に向けて忙しくなりそうです。

フォークダンスはステップを何回も繰り返して覚え、曲にのって楽しく踊れた時の喜びは格別。頭を使って、体を動かして、気持ちをリフレッシュ出来ます。入会はいつでも自由です。みなさんのお参加をお待ちしています。



【文:会長 尾身茂子さん】



感動涙！市民ミュージカル 虹に向かって札幌公演大成功

去る2月29日(日) 札幌市の「かでる2・7」ホールで、赤平市民劇場「きずな」によるミュージカル『虹に向かって』が上演されました。当日は、赤平からの応援隊はもちろんのこと、赤平にゆかりのある札幌市民の方など、道内各地から500名近い方が会

場に詰め掛け、旧友との再会の場面があちこちにあるなど、熱気に包まれていました。

みなさんご存知のように、創作市民ミュージカル『虹に向かって』は、2002年夏、廃校になった幌岡小学校等を会場に上演されました。その後、富良野市の「演劇工場」での上演。2003年秋には、国際鉱山会議でも上演し、団体の名称のとおり出演者だけではなく、多くのみなさんと“きずな”を深めてきました。

今回は、北海道舞台塾実行委員会や北海道が主催する舞台芸術地域文化事業「北の元気舞台」に出演する3団体のひとつとして選ばれました。言うなれば道内の市民劇団を代表して、道都札幌で上演してきたのです。赤平が大好きな人たちの集まりであるこの赤平市民劇場「きずな」は、今後も赤平内外で幅広く活動していくものと思います。

【取材・文:H田K司】



私たちのまちの“きらきら
さん”を募集しています。

「みんなが主役ー創作市民ミュージカルー」 中野弘基さん

2月29日に、札幌で赤平の創作市民ミュージカル「虹に向かって」が上演され、ほぼ満席の中で、観客とステージが一体となって感動を共有することができた。

観客は、赤平ゆかりの人々が多く、終演後のロビーは、懐かしい人たちの出会いの輪でごった返すほどの盛況であった。

こうした光景を目にするとき、いつも考えることは、この華やかな場には、目に触れられないが、華やかさを支えている人たちがいることである。

記者は、そこにスポットを当てた。

その1人に中野弘基さんがいる。裏方の担当は美術で、ステージの背景画の制作である。

中野さんの特徴は、目立つことが嫌いなことだが、尻込みするタイプではない。もちろん多弁でもないが、話はよく聞いてくれるし、断れない優しさがある。ミュージカルの背景画も快く引き受けてくれた。

制作が始まると、まさに黙々と一心不乱に絵と格闘している姿には敬服のほかなかった。

いよいよ本番。中野さんの絵は、観客の目をひきつけ、ステージのキャストを引き立て、そしてミュージカルそのものを際立たせてくれたと思っている。

おそらく中野さんは、自分は裏方に徹し、自分の魂を背景画に込めて、自分のミュージカルを演じたのだと思う。目立つことの嫌いな彼は、ステージで、“きらきら”輝き続ける背景画に、自分を重ねていたのだろう。よかったね。

【取材・文:S田T彦】